クリニカルパスウェイ

# 慢性副鼻腔炎で手術を受ける患者さんへ

東京慈恵会医科大学西部医療センター

患者番号　@PATIENTID　　患者氏名　@PATIENTNAME

| | 外来 | 入院日 | 手術当日 | | 術後1日目 | 術後2日目 | 術後3日目～退院 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 日時 | 月　日 | 月　日 | 月　日　時頃 | | 月　日 | 月　日 | 月　日 |
| 目標 | □体調を整えましょう | □手術の準備をしましょう | ＜術前＞<br>□安全に手術が受けられるよう準備をしましょう | ＜術後＞<br>□身体の回復を目指しましょう | □身体の回復を目指しましょう | □傷の回復を目指しましょう | □傷の回復を目指しましょう<br>□診察後、午前中に退院となります |
| 食事 | □制限はありません<br> | □必要時制限食となります<br>□夜9時以降は絶食です<br>□経口補水又は水を 20時～6時まで飲水行います。午後手術の方は看護師に確認して下さい | □朝6時から絶飲食<br>＊うがい、歯磨きはできます。<br>□午後手術の方は飲水については看護師へ確認してください。 | □飲んだり、食べたりはできません。（点滴で補充します）<br> | □朝から食事が出ます<br>□基本的には病院食に近いものをとるようにし、刺激物（香辛料・辛いもの・あついもの）は避けましょう | → | → |
| 活動 | □制限はありません<br>□手術に向けて体調を整えましょう | □制限はありません | □手術着に着替えましょう<br>□時計や貴金属・コンタクトレンズ・義歯・貼り薬などは外してください | □ベッド上安静です。麻酔の影響により、1人で座ったり歩くことができません。トイレ時はお知らせください。 | □病棟内は制限ありません | → | □退院後の外来予約票をお渡しします<br> |
| 検査処置 | □採血・レントゲン・心電図など手術に必要な検査があります | □麻酔医の診察があります<br>□場合により手術する側にマーキングします | | □酸素マスクをします<br>□場合により、尿道に管が入ります<br>□心電図・SPO2モニターを装着します。 | □4階の耳鼻処置室で診察します<br>□尿道の管が入っている場合は抜きます | □鼻洗浄が開始となります。使用方法の説明があります。 | → |
| 薬 | □常用薬は、医師の指示に従い内服してください<br> | □常用薬は、医師の指示に従い内服してください<br>□入院後、薬の内容を確認しますのでご持参ください<br>□薬剤師から薬の説明があります | □常用薬は、医師の指示に従い内服してください | □抗生剤の点滴をします<br>□必要に応じて、痛み止めや吐き気止めを使用します | □常用薬は、医師の指示に従い再開します<br>□セレスタミンの内服が始まります<br>□抗生剤の点滴をします | □抗生剤の点滴をします<br> | □抗生剤は内服へ変更します<br>□退院後内服するお薬をお渡しします<br>□退院後から去痰薬の内服と点鼻薬が開始となります |
| 清潔 | □マニュキア、ジェルネイルは落してください。アートメイクや刺青などがある場合はお知らせください。<br>□爪切り・髭剃りをしてください。 | □手術の準備をします（シャワー浴・爪切り・髭剃り） | □髭剃りや爪切りの確認をしてください。お化粧はしないでください。 | | □身体拭きをしましょう | □医師の許可が下りたらシャワー浴が可能となります<br> | ＜退院後の生活について＞<br>・綿球は、鼻の乾燥・感染を予防するため、次の外来まで続けてください<br>・出血の原因になりますので、入浴の際は熱い湯や長風呂は避け、短時間ですませましょう |
| 指導説明 | □喫煙されている方は、禁煙に努めてください。術後の呼吸器合併症や出血のリスクとなります。<br>□病状・手術の説明を受け、手術同意書・輸血同意書の記入をしていただきます<br>＜入院時持参物品＞<br>□常用薬（7日分）<br>□お薬手帳<br>□日常生活用品<br>□この説明用紙<br>□同意書一式<br>□鼻洗浄器（ローソンで購入） | □看護師から病棟案内と、手術前後の説明があります<br>□麻酔科医の診察時に麻酔についての説明があります。また、麻酔同意書の記載をいただきます。<br> | | □口に溜まった血液は飲み込まず出してください<br>□出血がありましたら速やかにお知らせください。<br>□適宜鼻の綿球を交換してください<br>□出血の原因となるため、鼻はかまないでください<br>□鼻の中のガーゼによって涙が多くなることがあります<br>□出血した場合は静かに横になりましょう | → □うがいや歯磨きを行い口の中を清潔に保ちましょう | → | ・傷の治りを遅らせてしまうため、医師の指示があるまで禁煙に努めましょう<br>・飲酒は血流を増加させ、出血しやすくさせるので医師の指示があるまで控えましょう<br>・定期的な診察が必要となりますので、医師の指示通り受診をお願いします<br>・出血、発熱、痛みなどが続く場合は、受診予定日以外でも外来に電話の上、受診してください |